

令和

### 3 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	(簡水)原水及び浄水維持管理事業	会計名称	水道特別			担当課	水道課		
		予算科目	2 款 1 項 1 目	事業番号	9941		所属長名	長岡崇	
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)						担当責任者名	中沖賢一	
法令根拠等	水道法						【開始】	令和／平成 2 年度	
総合計画での位置付け	快適空間都市の創造 潤いのある水環境づくり						実施期間	【終了】 令和 年度(予定) ■ 設定なし	
総合計画における本事業の役割	潤いのある水環境づくりにおいて、住環境の整備や生活安全の確保に努め、双海・中山地区における簡易水道区域内の安定的な水の供給及び安全な水づくりを行うための維持管理の実施								
事業の対象	市民（簡易水道の利用者）			事業の目的	双海・中山地区の5箇所（豊田、中山、佐礼谷、村中、永木）の簡易水道区域内に安定的に水の供給を行えるように施設の管理を行う。				
事業の内容（整備内容）	双海・中山地区の5か所（豊田、中山、佐礼谷、村中及び永木）の簡易水道区域内に安定的に水の供給を行うため、各水源地及び浄水場等の水道施設の維持管理を行う。			昨年度の課題に対する具体的な改善策	定期的な施設の巡回により、施設状況の把握に努めているが、地元関係者と連絡を密にし、効率的な維持管理に向け更なる検討を図っていく。				

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳(千円)							事業活動の実績(活動指標)									
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	3年度予定	9月末の実績	3年度実績				
直接事業費	23,666	14,008	0	0	0	12,774	光熱水費 委託料	千円 千円	432 6509	480 6792	209 1885	422 6090				
国庫支出金	0	0	0	0	0	0										
県支出金	0	0	0	0	0	0										
地方債	0	0	0	0	0	0										
その他	0	0	0	0	0	0										
一般財源	23,666	14,008	0	0	0	12,774										
職員の人工(にんく)数	0.67	0.55				0.55	修繕費	千円	11586	730	598	1131				
1人工当たりの件人費単価	7,812	7,841				7,841										
※ 直接事業費+人件費	28,900	18,321				17,087										
主な実施主体	直接実施	実施形態(補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)					動力費	千円	3736	4200	1862	3741				
向こう5年間の直接事業費の推移(千円)							4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	5年間の合計				
							18,500	20,000	20,000	20,000	20,000	98,500				
成果指標	指標	維持管理費(原水・浄水にかかる直接事業費) ÷ 給水収益 × 100					単位	区分年度 目標 実績	前年度	3年度	4年度	目標	毎年度			
	指標設定の考え方	水源地及び浄水場における維持管理費(直接事業費)を給水収益(水道使用料)で除することで、給水収益に占める原水・浄水ベースでの維持管理費の動向を把握することが可能となる。 維持管理費の動向の把握を目的としていることから、事前に目標値を設定することは困難である。					%									
	指標で表せない効果						⇒									

### 事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		日常のロガー監視や施設巡回点検結果で得られた情報については、課内職員のみならず、各水道利用組合と共有することで、施設異常の回避や早期対応が可能となる。									
事務事業の評価	自己判定（担当責任者）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業成果・工夫した点	日常のロガー監視、施設巡回結果について課内で情報共有することにより危機管理に努め、事故の未然防止や異常発生時における適切な対応を図っている。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決にならない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦労した点・課題	老朽化の進んだ施設や遠隔監視装置が整備されていない施設があることから、効率的な施設管理運営を行えるよう、計画的な施設整備を図る必要がある。		
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。	3						
		効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 簡易水道区域内に清浄で安定した水道水を供給する業務であるため、事業継続と判断する。		
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3						
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3						
	一次判定（所属長）	妥当性	目的の妥当性	5 施策の目的に沿った事業である。 4 3 概ね、施策の目的に沿った事業である。 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所属長の課題認識	原水及び浄水費用は、各簡易水道施設の取水、浄水の設備を円滑に運転管理し、安全で安定した水道水を供給する重要な施設である。しかしながら、施設の老朽化の進行や遠隔監視装置の未整備等、現状を的確に把握し運転管理を行うとともに、計画的な施設更新計画を立てる必要がある。		
			社会情勢等への対応	5 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 4 3 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 2 1 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 4 3 今のところ市の関与・実施は妥当と判断できる。 2 1 市は関与しないで、民間や市民団体等に委ねるべきである。	4						
		有効性	事業の効果	5 市民生活の課題、又は行政内部の課題解決に大いに貢献している。 4 3 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 2 1 市民生活や行政内部の課題解決にならない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の方向性			
			成果向上の可能性	5 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 4 3 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 2 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	3						
			施策への貢献度	5 施策推進への貢献は多大である。 4 3 施策推進に向け、効果を認めることができる。 2 1 施策推進につながっていない。	4						
		効率性	手段の最適性	5 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 4 3 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。 2 1 活動指標の実績も上がりず、効率的な手段の見直しが必要である。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業の方向性			
			コスト効率	5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 3 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 2 1 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。	3						
			市民（受益者）負担の適正	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	3						

施 策 を 踏 ま え た  判 断	二 次 判 定	<input type="checkbox"/> 一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。  <input checked="" type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断する。  <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。  <input type="checkbox"/> 一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。  <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。 <input type="checkbox"/> 一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。  <input type="checkbox"/> 既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		 <p>指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。</p>

行政評価委員会の答申	外 部 評 価	答申の内容
------------	------------------	-------

今後の方針性（ACTION）

の経 最 終 者 判 会 議	事業の方向性	コメント欄
		<input type="checkbox"/> さらに重点化する。
		<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する。
		<input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。
		<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。
		<input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。